

治療機器事業



# Therapeutic Solutions Division



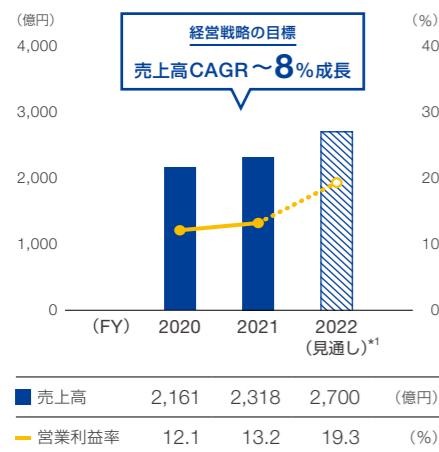
顧客志向の低侵襲治療製品とソリューションを通じて、「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」に貢献します”

セラピューティックソリューションズディビジョンヘッド

倉本 聖治(左) ガブリエラ・ケイナー(右)



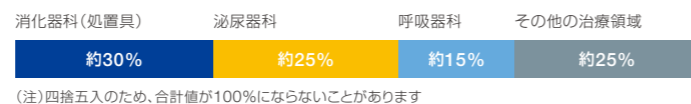
### 通期実績



(注)FY2022より、内視鏡事業の消化器内視鏡に分類していた気管支鏡を、治療機器事業の呼吸器科に移管しています。これに伴い、FY2021の数値も組み替えて表示しています。FY2020の数値は組み替え前の数値です。

\*1 2021年8月5日公表見直し

### FY2021売上構成比



### 主な製品



### 事業環境

- 人口の高齢化と慢性疾患の増加に伴う症例数の増加
- 医療費削減圧力の高まりに伴う、臨床的価値と経済的価値の双方への注目、患者さんのアウトカム(治療結果)向上に焦点を当てた新しいケアモデルの必要性の高まり
- 開腹手術から低侵襲治療への移行の進行による、患者さんのアウトカム向上、総治療費の最適化
- 低侵襲な技術により実現された低コストな治療環境(入院から外来)へ需要がシフト

### 領域別の戦略・進捗・今後の取り組み

#### 事業基盤

戦略	ハイライト
<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略、重点分野、長期的展望に沿った臨床的・経済的に差別化されたソリューションにより、市場を上回る収益性と持続的成長を実現する</li> <li>高い品質と信頼性を確保しながら、製品開発から販売まで効率的に運営する</li> <li>外部とのパートナーシップ、ライセンス供与、M&amp;Aを通じた製品ポートフォリオの拡大を加速するため、事業開発機能を強化・発展させる</li> <li>最大の市場である米国での競争力、成長力、リーダーシップを強化するために、米国にグローバル統括拠点を置く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年4月、米国マサチューセッツ州ウェストボローに新たな拠点を開設し、治療機器事業のグローバル統括拠点と米国医療分野のセールス&amp;マーケティング機能を集約</li> <li>戦略の実行とポートフォリオの開発のため、規制、医療、臨床の各分野で高い能力を持つ組織を確立</li> <li>アーリーステージの投資の増加により、治療機器事業を中心とした将来的なM&amp;Aターゲットの発掘・検討の加速</li> </ul>

#### 注力3領域

治療機器事業の成長を加速させ、低侵襲治療における当社の価値を高めるために、3つの治療領域でリーダーシップを発揮することに注力します。

戦略	ハイライト
<p><b>1 消化器科(処置具)</b></p> <p>ERCP*2、ESD*3、メタルステント、止血デバイスなど主要カテゴリーにおいて、臨床的および経済的に差別化された製品ポートフォリオを拡充</p>	<p>4つの新製品のグローバルでの発売、および、臨床的なアウトカムの改善が認められた消化器科用処置具のポートフォリオを有するArc Medical Design社の買収により、消化器科用処置具におけるリーダーシップを強化</p>
<p><b>2 泌尿器科</b></p> <p>顧客志向のイノベーションと説得力のある臨床上の差別化により、BPH*4、結石治療、膀胱がんの分野でグローバルリーダーを目指す</p>	<p>新たにPlasma+テクノロジーを採用した高周波焼灼電源装置を市場導入し、Medi-Tate社買収によって低侵襲治療デバイスをポートフォリオに加えたことにより、業界最高クラスの充実したBPH治療オプションを提供</p>
<p><b>3 呼吸器科</b></p> <p>正確で早期の診断とステージングにより、肺がんの患者さんのケアと予後を改善するためのソリューションを提供し市場をリードする</p>	<p>次世代EBUSスコープの発売、Veran Medical Technologies社の買収とその低侵襲技術のポートフォリオにより、肺がん分野でのリーダーシップを強化</p>

#### その他の治療領域

戦略	進捗・今後の取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーソリューションのポートフォリオを拡大する</li> <li>低侵襲治療・手技に市場がシフトする中、それに対応するソリューションへの投資を通じ、咽喉科、耳鼻科、婦人科事業を維持・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーデバイスの領域で新製品を発表。差別化された腹腔鏡用スモークマネジメントソリューションにより、既存の手術室向け製品ポートフォリオを拡大</li> <li>効率性の向上に重点的に取り組み、収益性を改善</li> </ul>

\*2 Endoscopic Retrograde Cholangio Pancreatography : 内視鏡的逆行性胆道膵管造影術  
 \*3 Endoscopic Mucosal Resection : 内視鏡的粘膜切除術、Endoscopic Submucosal Dissection : 内視鏡的粘膜下層剥離術  
 \*4 BPH : 前立腺肥大症  
 \*5 ENDO CUFF VISION、iTind、SPiNは、2021年9月末時点で医薬品医療機器等法未承認品です